

はじめに

東日本大震災や熊本地震、北海道胆振(いぶり)東部地震など、近年全国各地で大規模地震が発生し、地震・津波により甚大な被害をもたらしています。また、南海トラフ巨大地震は、30年以内に70～80%の確率で発生すると予測されています。一方で、台風や豪雨による、河川氾濫等の被害も相次いで発生し、平成30年7月豪雨では200名を超える方の生命が奪われるなど被害が甚大化しており、尼崎市においても、いつ大規模な災害が発生してもおかしくない状況です。

本誌には、災害時の避難の方法やタイミング、情報の取得手段といった避難行動に必要な情報を掲載しています。平時からご活用いただき、いざというときに、迅速に、正しい避難行動を取っていただくようお願いします。

尼崎市長 稲村和美

避難の主体（自助・共助・公助の役割）

防災への取組には「自助」「共助」「公助」があり、これらが効果的に機能することにより、被害を減らすことができます。

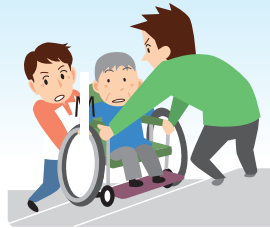
自助

- 自分や家族の命を守る
- 日頃から安全対策を行う



共助

- 地域で助け合う
- 地域の防災訓練を実施する



公助

- 避難場所を指定する
- 防災に関する計画を作成する



被災直後に行政がすべての被災者を迅速に支援することは難しく、「自助」「共助」の取組は非常に重要な役割を果たします。

MEMO